



完全母乳育児と HIV 感染 Exclusive Breastfeeding and HIV Infection

背景

研究は、HIV 陽性の女性から生まれた乳児のウイルス感染を減らすために、完全母乳育児を少なくとも半年以上続けるか、完全人工乳育児にすべきだと示唆している。母乳育児は、貧困の状況で、安全な人工乳を得るための清浄な水と燃料が不十分である場合には特に重要であるが、文化規範や生活環境によって影響を受け得るものでもある。政策、勧告、支援や情報提供は、地域や国によって多様であり、共有することができるアイデアと経験が豊富に存在することは明らかである。

所信声明

国際助産師連盟は、HIV 感染している状況下で出産をむかえる女性には授乳法の選択肢に関する明確な情報が必要であり、完全母乳育児が選択された場合には、それを達成するための支援が必要であると確信している。また ICM は、政治的主導権や女性のために提供した支援の経験について、会員協会が相互に共有できれば、提供できるサービスの向上につながると確信している。

見解

国際助産師連盟は、母親が HIV 陽性であれば、完全母乳育児もしくは完全人工乳育児が必要であること、および、ある環境においては安全な人工乳育児の実現が、それどころか完全母乳育児さえも、困難であると認識している。ICM は、女性が上記の選択肢を達成することを支援する助産師、政策決定者、その他の中心となる人物に情報提供するために、見聞の収集とその普及を強く奨励する。

会員協会への指針

会員協会は、政策や情報提供を主導的に行った経験や、HIV 陽性の女性が適切な授乳法を決定・実行することの支援、特に人工乳が安全でない場合に少なくとも 6 ヶ月の完全母乳育児を達成するために行なった支援の経験について、他の協会と共有することを強く奨励される。

地域代表と ICM 理事会には、次のことが強く奨励される：

- HIV と、完全母乳育児を含めた授乳方法に関する適切な調査
- 共有された見聞のデータベースの構築もしくは出版物の発行

関連 ICM 文書

- ICM 所信声明「母乳育児」(1999)

その他の関連文書

- Coutsoodis A *et al.* 2001. Method of feeding and transmission of HIV-1 from mothers to children by 15 months of age: prospective cohort study from Durban, South Africa. *AIDS*. Feb 16, 15(3), 379-387.
- Zetterstrom R. 2000. Transmission of human immune deficiency virus type-1 from mother to infant. *Acta Paediatrica*; 89(11): 1273-1274.

- WHO. *Young Infant and Child Nutrition*. Resolution 54/7 by the World Health Assembly, Geneva, 2001

2008 年、グラスゴーでの国際評議会にて採択

次回の見直し予定：2014 年

2009 年 12 月 (社) 日本看護協会・(社) 日本助産師会・日本助産学会訳

All rights, including translation into other languages, reserved. No part of this publication may be reproduced in print, by photostatic means or in any other manner, or stored in retrieval system, or transmitted in any form without written permission of the International Confederation of Midwives. Short excerpts (under 300 words) may be reproduced without authorisation, on condition that the source is indicated and that the ICM be informed.

他の言語への翻訳権も含めて、この出版物は著作権を有しています。国際助産師連盟 (ICM) から文書による許諾を得ることなく、本書の一部または全部を何らかの方法で複製することや検索システムに登録することなど、一切の伝播を禁じます。ただし、短い引用 (300 語未満) に関して、許可は不要ですが、その場合は出典を明記し、ICM へご連絡ください。

Copyright © (2008) by ICM- International Confederation of Midwives,
Eisenhowerlaan 138, 2517 KN The Hague, The Netherlands